

令和元年度

特別養護老人ホーム 亀天荘

指定短期入所生活介護事業所 亀天荘

事業報告書



## 令和元年度 特別養護老人ホーム亀天荘 事業報告書

事業所理念「亀天荘に関わる全ての人が、穏やかに幸が得られますように」

### (1) 基本方針

多職種協働で作成したケア計画に基づき、ご利用者やご家族の意向を確認しながら、心身の状態に応じて安心して安心して生活ができるように支援します。

### (運営方針)

- ① ご利用者やご家族との交流を積極的に図りながら、施設の生活に対する意向を把握しつつ、施設がご利用者やご家族を支えることができる体制を作ります。
- ② ご利用者やご家族の意向を汲み取った上で、医療機関との連携を密に図り、可能な限り住み慣れたこの場所で、安心していつまでも暮らせるよう支援します。
- ③ 多職種協働により作成されたケア計画をもとに、生活や心身のケアを行い安定した生活を送って頂くことにより、稼働率の向上を図ります。

### (重点目標)

- ① 毎月多職種が参加してのケアカンファレンスを開催しご利用者ごとに個別性のあるケア計画を作成し、それに基づいてサービスを提供しました。事故や体調の変化、その他の些細な状況の変化についてもこまめにご家族に報告し、施設でのご利用者の状態が見えるように努めました。毎月の季節に応じた行事の他にも夏祭りや敬老会などご家族も参加できる行事を企画し、楽しんでいただきました。
- ② 看護師、介護職員が連携してご利用者の日々の体調を把握し、その状態に応じた健康管理を行いました。ご利用者の状態変化があったときなど、必要時にショートカンファレンスを実施し、変化していく状態に合わせたケアを実施しました。主治医とも連携し必要時には適切な医療につなげられるようにしました。職種ごとに専門性のあるケアができるよう内部及び外部研修を行い、知識や技術の向上に努めました。また看取りに関する研修も行い、職員で知識や対応方法を共有することで、ご家族様に満足していただけたターミナルケアを実施できた例もありました。

③ ご家族にご利用者の様子、状態についてこまめに報告しその時々の状態に応じた福祉用具やケア方法を提案し、ご利用者やご家族の意向を確認した上でサービスを提供することで、稼働率 98.8%を達成しました。また、相談に来られた地域の方に対し、特養だけでなく法人内の事業所も紹介し、適切なサービスにつなげられるような支援を行いました。

④ 地域交流のために、夏祭りの開催や地域の秋祭りへの参加、中学生の福祉体験の受け入れを実施しました。地域住民の方にとっても身近な存在となり、亀天荘を多くの方に知っていただけるように努めました。

#### ⑤各種委員会

##### ● 身体拘束

ご利用者の身体状況を把握する事で身体拘束ゼロを実施しました。身体拘束につながるような不適切なケアを防止するために、職員へのアンケートを実施したり、実際のケア現場で起こりうる場面を想定しての研修を行うなど、職員全体の知識の向上に努めました。

##### ● 事故防止

事故やヒヤリハットについては、起きた際に都度ミーティングを行い再発防止の対策を検討しました。また、場所や時間、事故の種類を統計をとり、事故の起きやすい環境を分析し、特にヒューマンエラーによる事故を防ぐための対策を検討しました。事故防止についての勉強会も実施し、ヒヤリハット報告の件数を増やすことで事故防止につなげる取り組みを行いました。

##### ● 虐待防止

ご利用者の心身状況や虐待の知識を高める事で虐待ゼロを実施しました。勉強会では知識の向上とともに、ストレスへの対応方法も検討しました。またポスターを作成し、不適切ケアを予防するような取り組みを行いました。

##### ● 感染対策

感染症についての知識について看護職員だけではなく他職種の理解を深める為、勉強会を実施し感染対策に取り組めるよう努めました。特にインフルエンザ流行時期においては最新の感染情報を確認し、職員の手洗いやうがい、消毒を徹底して行い、ご家族にも面会をお控えいただくことで施

設内での流行はなく経過する事が出来ました。コロナウイルスの流行が全国的にみられるため、より強化した感染対策を実施しています。

- 褥瘡防止

介護職員の日頃の皮膚観察を徹底し、褥瘡ハイリスク者への対応がすぐに実施できるよう努めました。また、褥瘡のある方のアセスメントを看護師・介護職員・管理栄養士の他職種で行い、委員会やカンファレンスでケア計画を立て対応しました。

## (2) 利用者に対するサービス

- 食事

ご利用者それぞれの身体状況や生活状況を把握し、嚥下状態に合った食事形態を検討し安全な食事が行えるように努めました。また、安全面に加え楽しみのある食事を行って頂けるよう、季節を感じていただけるような献立や、味や食感・見た目などにも工夫し食事の提供を行いました。

- 入浴

介護職員や看護師にて、身体状況を確認し入浴が出来る状況であるか適切な判断のもと安全な入浴が出来るよう努めました。普通浴槽、機械浴、寝たきりでも入浴できる特殊浴槽など、充実した入浴設備を活かしてご利用者ごとの身体状況に合わせて負担なく入浴していただける体制を整えています。

- 排泄

ご利用者の日常生活動作を把握し、身体状況に合った排泄ケアを行えるように努めました。ご利用者の残存機能を活かしつつ負担がかからないよう、複数名で介助を行うなど、プライバシーにも配慮しながら、その人に応じた適切なケアを実施しました。

- 機能訓練

多職種協働により、身体状況や生活状況の把握・アセスメントを行い、生活の質が維持または向上出来るように機能訓練を実施しました。また、機能訓練指導員からの機能訓練だけではなく、看護師や介護職員など日常生活における機能訓練を実施していくことで、身体機能の向上を図りました。

- **健康管理**  
看護師により毎日のバイタルチェック等、日々の健康管理を行いました。また、一人ひとりの既往歴や現病歴を把握し、病状に合った観察を行い異常時の早期発見に努めました。ご利用者の体調不良時には多職種が連携して状態観察を強化し、必要時にはすぐに適切な医療につなげられるような体制を整えました。
  
- **行事**  
お花見ドライブやスイカ割り、秋祭りでの神輿や獅子舞の見学を行い四季を感じられる機会を作りました。他にも毎月の誕生会や敬老会など、ご利用者に楽しんで頂けるような行事を企画し、日々の生活により楽しむある日々が送れるよう努めました。
  
- **ボランティアの受け入れ・地域行事参加状況**  
夏祭りでは、地域の婦人会の方々やご利用者家族にご協力頂きながら、盆踊りやイベントなどを行い、ご利用者にとって楽しみのある行事にすることができました。また、中学生による福祉体験学習では、車いす体験や高齢者の生活の様子をみて頂き、ご利用者への介助も体験してもらうことで、福祉施設を身近に感じて頂けるように努めました。
  
- **防火・災害対策**  
年2回の防災訓練や地震訓練、防犯訓練、風水害等の訓練を実施し、災害時の対応を確認しました。また定期的な防火設備の点検や食料品等の備蓄も確認しました。
  
- **職員研修**  
内部研修や外部研修を実施することにより、介護の基本や応用や個別対応の他、医療に関する内容についても学ぶ機会を持ち、質の高いケアを実施出来るように努めました。身体拘束防止、虐待防止、感染対策、褥瘡予防、事故防止の他にも毎月実践を交えた介護技術の勉強会を行うなど、職員全体の技術向上にも努めました。

(1) 基本方針

住み慣れた環境の中で在宅生活をより長く継続する為に、ご家族、地域、他事業所と連携し、自立支援に努めます。

(運営方針)

- ①ご利用者、ご家族の希望を尊重し、ご家庭と同様な環境作りと行き安心、安全なサービスの提供を行います。
- ②介護支援専門員や職種が情報を共有し継続して在宅生活が送れるよう支援します。
- ③居宅介護支援事業所や在宅介護支援センター等と協力し、地域福祉の拠点として要支援者や要介護者の生活のサポートを行っていきます。

(重点目標)

- ① 在宅生活と施設サービスとの連動性を持たせるため、在宅訪問を行い、家での生活環境も把握し、多職種協働でケア計画を作成しました。また、利用中の健康状態や生活の様子をご家族に報告し、安心してサービスを利用していただけるように努めました。
- ② 軽度の方から重度の方まで様々な状態のご利用者がそれぞれに応じたケアを受けられるよう、ご利用者の意向も確認しながらサービスを提供しました。稼働率 95%以上を目標としていましたが、88.5%でした。サービスを必要とされている方をスムーズなご利用につなげられるようにして稼働率の向上を図りたいと思います。
- ③ 地域とつながりのある居宅介護支援事業所や在宅介護支援センターと連携し緊急時も含めて介護を必要としている方に適切なサービスを提供できるようにしました。



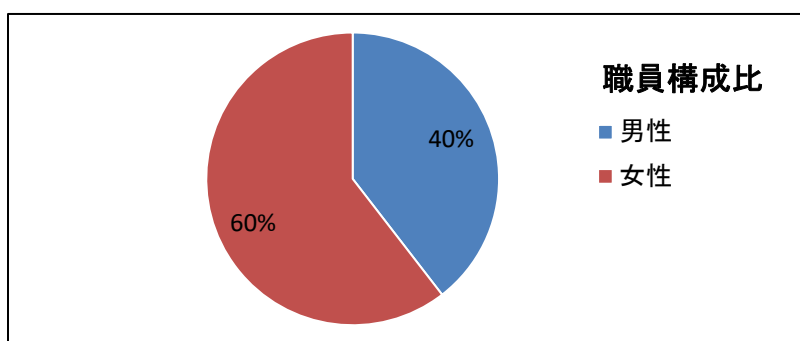


## 1. 事業所

### ① 概要

事業所名	特別養護老人ホーム 亀天荘		
事業所種別	介護老人福祉施設・短期入所生活介護		
事業所住所	西条市大野190番地1		
管理者職名	施設長 山田 古津枝		
職員数	男性	女性	総数
	17	26	43

(令和2年3月31日現在)



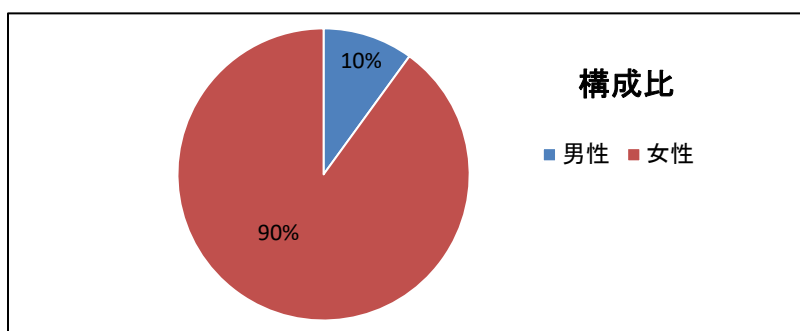
### ②職員紹介

特別養護老人ホーム亀天荘の職員は、施設長、生活相談員、管理栄養士、事務員、介護支援専門員、機能訓練指導員、介護員、看護師、医師(非常勤)で構成されています。また、4月から外国人技能実習生を3名受け入れています。

有資格者は介護支援専門員が2名、管理栄養士が1名、介護福祉士が12名、看護師が1名、准看護師が2名となっており、各職種の専門性を活かしながら、多職種協働によるサービスを提供しています。

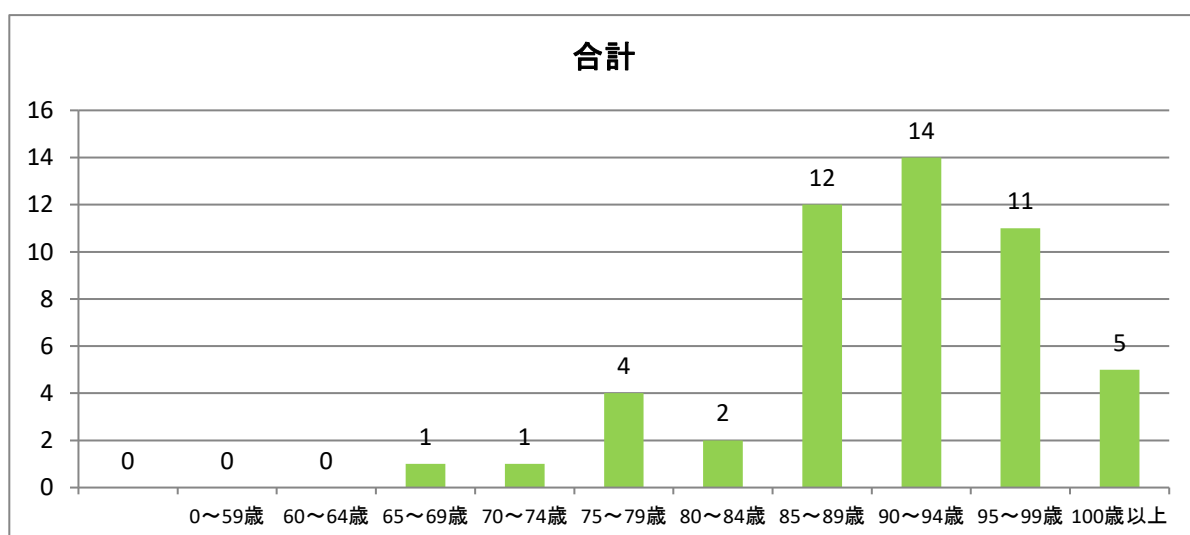
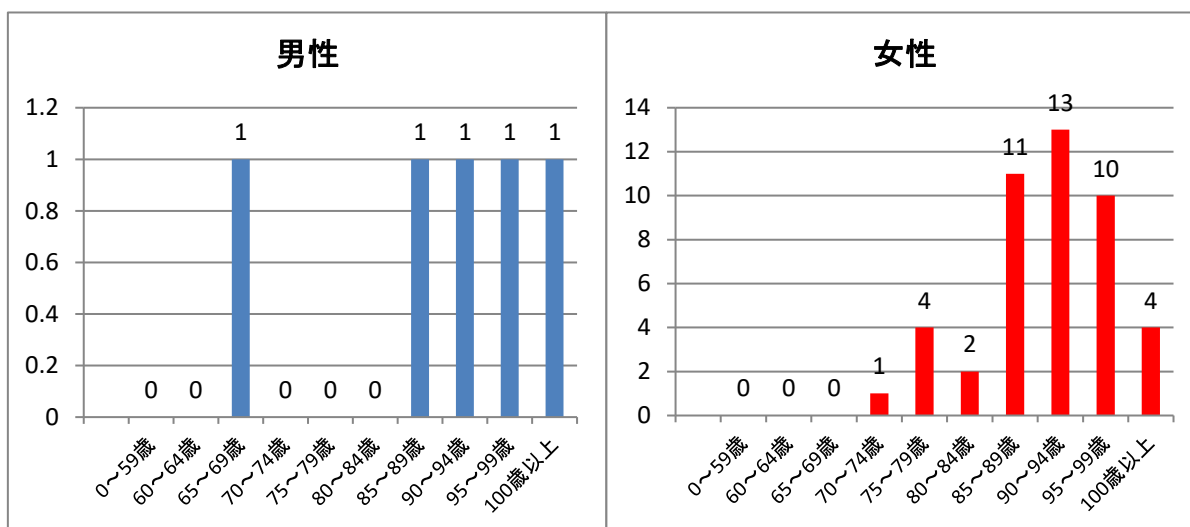
## 2. 定員及び現在人員(令和2年3月31日現在)

定員	現在人員	性別	
		男性	女性
50	50	5	45



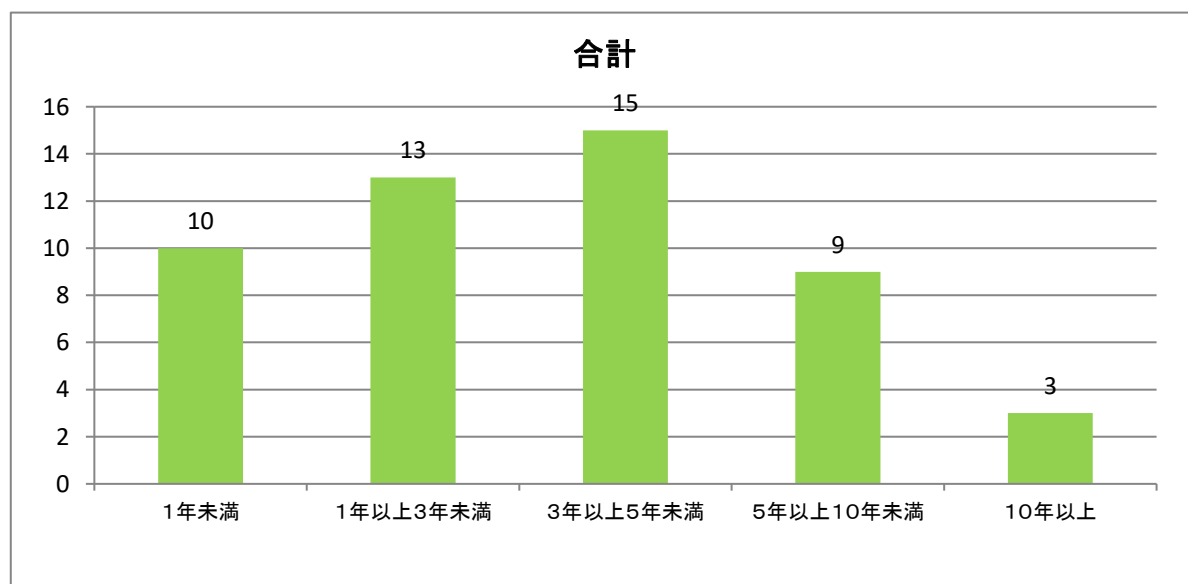
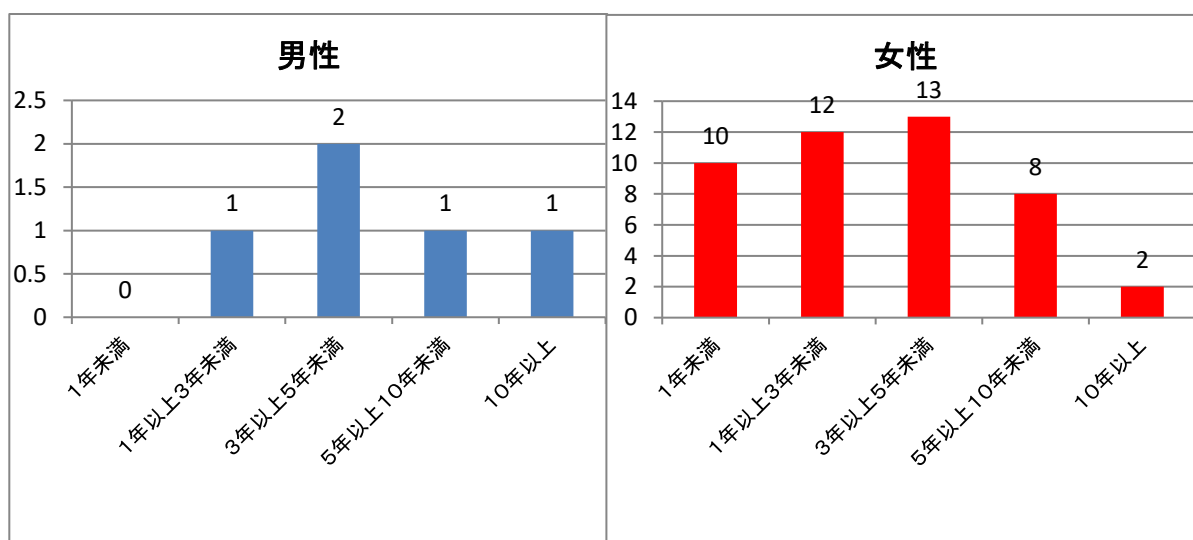
### 3. 年齢別人員

	男性	女性	合計人数と構成比	
			人数(名)	構成比(%)
0～59歳	0	0	0	0
60～64歳	0	0	0	0
65～69歳	1	0	1	2
70～74歳	0	1	1	2
75～79歳	0	4	4	8
80～84歳	0	2	2	4
85～89歳	1	11	12	24
90～94歳	1	13	14	28
95～99歳	1	10	11	22
100歳以上	1	4	5	10
合計	5	45	50	100
	最高年齢	最低年齢	平均年齢	男女平均年齢
男性	100	65	87.8	
女性	101	70	90.6	



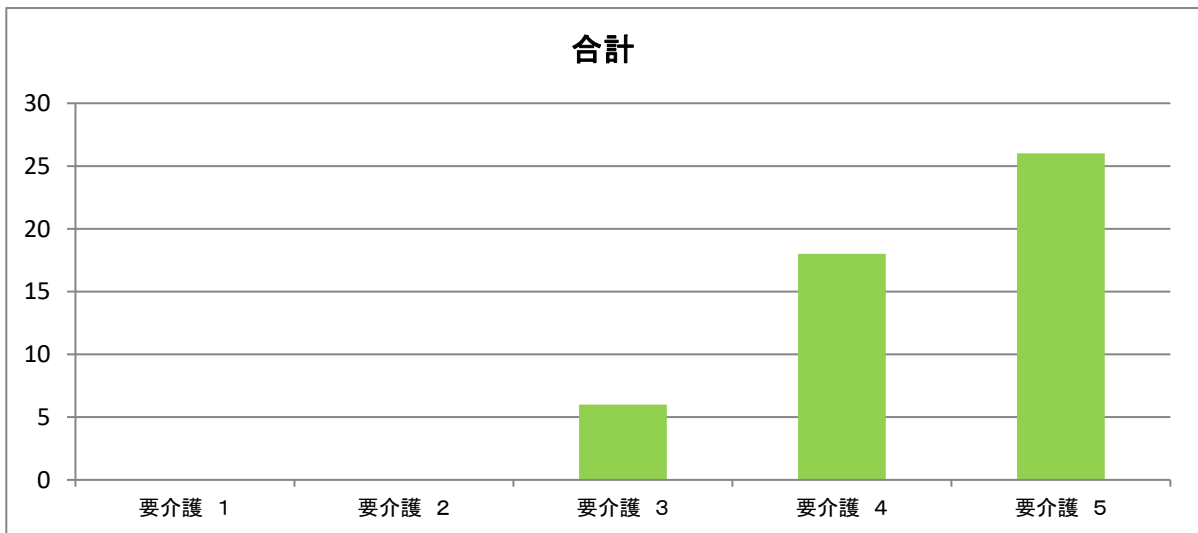
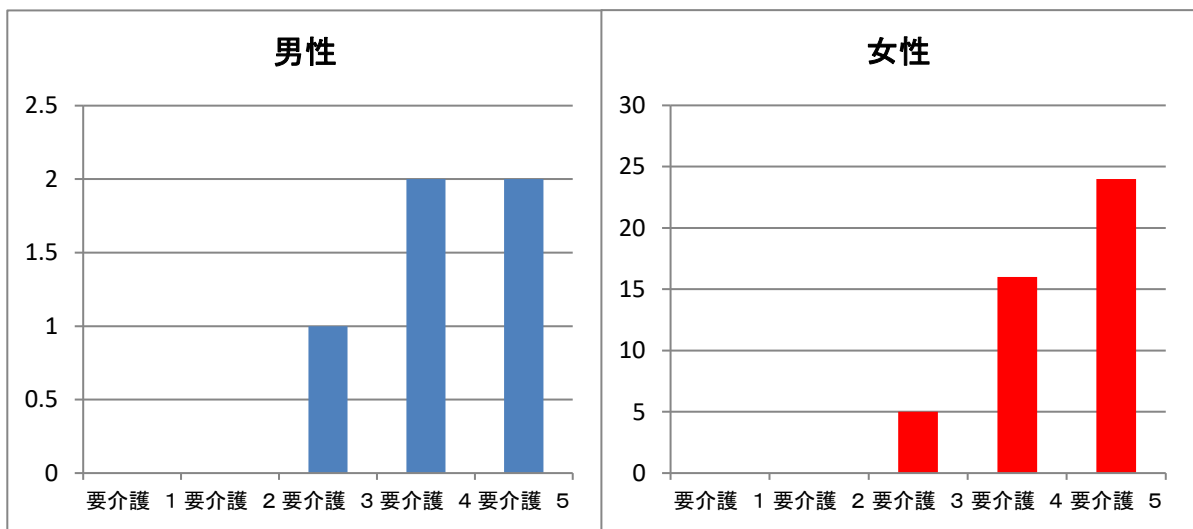
#### 4. 入居期間別人員

	男性(名)	女性(名)	合計(名)	構成比(%)
1年未満	0	10	10	20
1年以上3年未満	1	12	13	26
3年以上5年未満	2	13	15	30
5年以上10年未満	1	8	9	18
10年以上	1	2	3	6
合計	5	45	50	100
平均入居期間	4年4ヵ月	3年4ヵ月	全体	3年11ヵ月



### 5. 平均介護度別人員

	男性(名)	女性(名)	合計	
			人数(名)	構成比(%)
要介護 1	0	0	0	0
要介護 2	0	0	0	0
要介護 3	1	5	6	12
要介護 4	2	16	18	36
要介護 5	2	24	26	52
合計	5	45	50	100
平均介護度	4.20	4.98		



6. 面会状況(平成31年4月1日 ~ 令和2年3月31日迄の1年間)

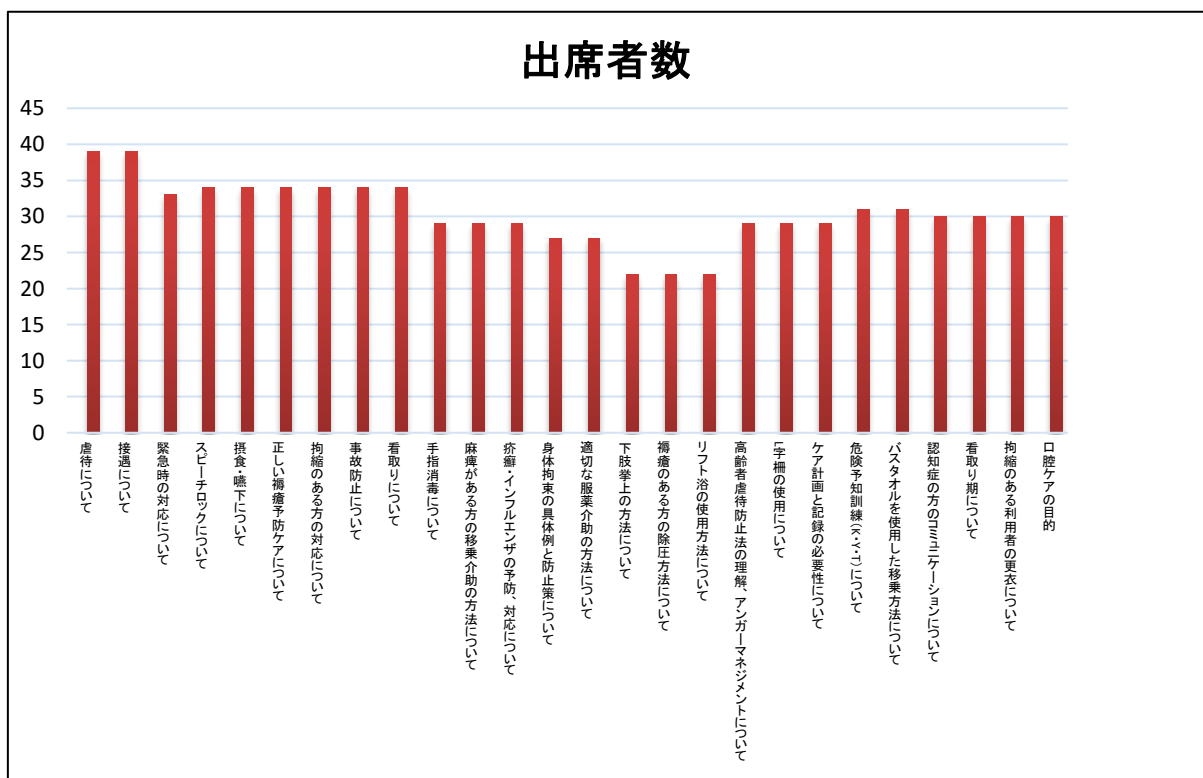
総数	1051(件)
1か月平均	87(件)
最高(1人あたり)	268(件)
最低(1人あたり)	1(件)
年間1人平均	16(件)
1か月1人平均	1.7(件)

7. 研修実施状況

**【内部研修】**

実施月	研修内容	研修講師	出席者数
4月23日	虐待について	介護支援専門員	39
	接遇について	生活相談員	39
5月28日	緊急時の対応について	看護職員	33
6月25日	スピーチロックについて	介護職員	34
	摂食・嚥下について	機能訓練指導員	34
7月23日	正しい褥瘡予防ケアについて	介護職員	34
8月27日	拘縮のある方の対応について	介護職員	34
	事故防止について	介護職員	34
	看取りについて	看護職員	34
9月24日	手指消毒について	看護職員	29
	麻痺がある方の移乗介助の方法について	介護職員	29
10月21日	疥癬・インフルエンザの予防、対応について	看護職員	29
11月26日	身体拘束の具体例と防止策について	介護職員	27
	適切な服薬介助の方法について	介護職員	27
12月24日	下肢挙上の方法について	介護職員	22

	褥瘡のある方の除圧方法について	看護職員	22
	リフト浴の使用方法について	機能訓練指導員	22
1月28日	高齢者虐待防止法の理解、アンガーマネジメントについて	介護職員	29
	L字柵の使用について	介護職員	29
	ケア計画と記録の必要性について	介護支援専門員	29
2月25日	危険予知訓練(K・Y・T)について	介護職員	31
	バスタオルを使用した移乗方法について	介護職員	31
3月24日	認知症の方のコミュニケーションについて	介護職員	30
	看取り期について	看護職員	30
	拘縮のある利用者の更衣について	介護職員	30
	口腔ケアの目的	機能訓練指導員	30



## 【外部研修】

実施月	研修種類	研修内容	出席者職種
6月22日	講義	医療職は手が命	看護職員
8月29日	講義	老人福祉事業の概要と会計処理について	事務員
9月10日	講義	アンガーマネジメントとアドラー心理学に学ぶ	介護職員
9月18日	講義	対人交渉力・相談援助力を向上させるには	生活相談員
10月26日	講義	インフルエンザ感染の特徴と対策	看護職員
11月8日	講義	介護支援専門員研修会	介護支援専門員
11月18日	講義	口腔ケアについて	介護職員
11月19日	講義	機能訓練指導員研修会	機能訓練指導員
11月23日	講義	外国人技能実習制度関係者養成講習	介護職員
11月27日	講義	特定給食施設等関係者研修会	管理栄養士
1月24日	講義	看取り研修	看護職員

8. 食事

**【栄養所要量】**

区分	1人1日当たり給与栄養量	1人1日当たり荷重平均所要量
エネルギー	1572kcal	1550kcal
たんぱく質	55.5g	51.4g
脂質	34.3g	34.4g
カルシウム	787mg	656mg
鉄	9.1mg	6.1mg
レチノール当量	678 $\mu$ g	669 $\mu$ g
ビタミンB1	1.31mg	0.83mg
ビタミンB2	1.04mg	0.93mg
ビタミンC	103mg	100mg

**【献立例】**

4月	5月	6月	7月	8月	9月
山菜ごはん	塩昆布混ぜご飯	とろろそば	冷やし素麺	野菜のせうどん	芋ご飯
麩の辛子和え	肉そば	スペイン風オムレツ	うなぎ寿司	さけ寿司	松風焼き
にゅうめん	マカロニグラタン	鶏肉の梅焼き	稲庭うどん	三色丼	ぶりの香味焼き
ぬった汁	さけの親子散らし	海鮮散らし寿司	ねぎとろ丼	冷やしうどん	スタミナ豚とろ丼
ラーメン	茶そば汁	梅とツナの炊き込みご飯	えびの炊き込みご飯	いなり寿司	鯛の塩焼き
さくらゼリー	抹茶ゼリー	小倉蒸しパン	あじさいゼリー	スイカゼリー	おはぎ

10月	11月	12月	1月	2月	3月
かぼちゃカレー	炊き込みご飯	大根ご飯	鯖寿司	卵とじ丼	春色おにぎり
大根ご飯	豚肉のママレード焼き	五目うどん	姫路おでん	かきませ寿司	若竹煮
豚肉のマスタードソテー	魚の香草パン粉焼き	星のハンバーグ	七草粥	そば米汁	石切寿司
きつねそば	吉野家牛丼	栗赤飯	おせち	鮭のおかか葱焼き	けんちゃん
しらす寿司	さんま寿司	年越しそば	かき揚げ	節分巻き寿司	散らし寿司
スイートポテト	りんごケーキ	和のパンケーキ	ぜんざい	ハートのチョコどら焼き	桜餅風デザート



## 9. 行事・クラブ活動及びボランティア受入れ実施状況表

## 【行事・クラブ活動】

実施月	指導援助者	内容	参加者数
4月7日	介護職員	お花見ドライブ	5名
4月24日	介護職員	誕生日会	38名
5月27日	介護職員	つつじ見学(ドライブ)	4名
5月29日	介護職員	誕生日会	25名
6月19日	介護職員	あじさいロード(ドライブ)	6名
6月28日	介護職員	誕生日会	26名
7月18日	介護職員	七夕短冊作成、飾りつけ	26名
7月24日	介護職員	誕生日会	26名
8月22日	介護職員	スイカ割り	23名
8月28日	介護職員	誕生日会	22名
9月25日	介護職員	誕生日会	27名
9月10日	介護職員	敬老会	40名
10月13日	介護職員	子供御輿見学	10名
10月16日	介護職員	獅子舞見学	12名
実施月	指導援助者	内容	参加者数
10月23日	介護職員	誕生日会	24名
10月29日	介護職員	河北会館・小学生によるイベント参加	5名
11月21日	介護職員	紅葉壁画づくり	26名
1月6日	介護職員	初詣	38名
1月11日	介護職員	鏡開き	40名
1月30日	介護職員	誕生日会	27名
2月3日	介護職員	節分	26名
2月27日	介護職員	誕生日会	26名
3月5日	介護職員	ひな祭り	24名
3月30日	介護職員	誕生日会	27名

## 【地域交流・ボランティア受入れ状況】

実施月	団体名	内容	参加者数
8月28日	婦人会	盆踊り大会	63名
9月20日	西条市立東予西中学校	福祉体験学習	3名
10月13日	大野自治会	子ども神輿、獅子舞	10名
10月16日	上市自治会	獅子舞	10名
毎月 (感染症対策のため 1~3月は実施せず)	傾聴ボランティア	ご利用者とのコミュニケーション	各回2名

### 10. 苦情状況

#### 【苦情状況】

日付	法人との関係	内容
令和元年度		特になし